

THE CHIKUMAKAIHO

JAN. 1970

千曲会報

No. 174

編集発行人 竹 田 寛
発行所 社団法人 千 曲 会

長野県上田市常入 信州大学繊維学部
振替 長野 6243, 東京 43341
電話 上田(2)1215(代表), (2)4465(直通)



頌 春 新 春 ご 挨拶

社団法人 千曲会理事長 小 林 運 美

明けましてお目であうございます。万博の年を迎え会員の皆様には益々ご健祥にてお過しのことと拝察いたし、心からお喜び申し上げます。つい先頃50周年記念を迎えたと思っているのに、あれからはやくも10年、今年は60周年を迎えることになりました。

ことしは昨年同様に母校にとっても、千曲会にとっても近來にない重大な時期に遭遇しているように考えられます。

昨年は蚕糸教育の改善に対して、同窓会としては飽くまで中立の立場をとって進んで参りました。

この問題は極めて重大な問題であり、どこまでも慎重な態度で望まなければならないと考えています。

母校の問題については、同窓生としては大いに関心を持つことは当然であります。その渦中に入る筋合もなく、また今はその期でもないと考えます。

母校も今年は、管理棟と共通講座の建物2470㎡(鉄筋4階)が建設されることになったときいてその発展に大いに期待をかけ、かつ喜んでおります。

年頭からこんなことを申し上げるのは甚だ心苦

しい次第であります。近年会費の納入状況が悪く、会の運営に支障をきたすのが偽らざる状態であります。どうぞ同窓会をいよいよ発展、隆盛とならしめるために、会費の納入をお願い申し上げます。

尚、今年4月には、第40回日

本蚕糸学会学術講演会が母校で開催されます。つづいて10月には日本繊維学会が開催されることになっておりますとのことです。

同窓会としてもできる限りの協力とを考えておりますので、よろしく願いいたします。

会員皆様のご発展を祈念いたし年頭のご挨拶といたします。(筆者：こばやし・かずみ、糸16)



シ ス コ の 三 ケ 月

飯 塚 英 策

昨年の夏から秋にかけて再びサンフランシスコを訪れカリフォルニア大学医学センターで生物物理関係の仕事をして参りました。ここは数年前にも絹タンパク質の分子構造の研究をしていた所なので、生活には直ぐ馴れ、短い滞在期間でしたが十分に研究をして来ました。今日はシスコでの生活の様子について、とりとめのない話になるかも知れませんが、思い出すままに記してみたいと思います。

空港からリムジン・バスでダウンタウンに行き、医学センターにタクシーを走らせました。車からみたシスコは、一見前と少しも変らぬ街のたたずまいに懐しい思いで一ぱいになりました。道幅が広く坂の多い街にあふれる明かるい色で軽装の若い人達、毛のふさふさしたオーバーを着こんだ考婦人、きちんとネクタイをしめた老人達の気楽な表情。ただ例のヒッピー族の一人の男がアメリカ・インディアンのするように手織りの布を肩に掛け頭にはシンボルの細いリボンを巻いて腰にずだ袋を下げてカリフォルニアの空のように明かるい顔をして裸足で車の前を横切りはしましたが。

研究室でヤン教授に再会しました。4月に最愛の長女を交通事故で失なった痛手から未だほとんど立直っていないようでした。その後人から聞いた話ですが、ドクターを取るためヤンの所からパークレー・キャンパスに移った、もう40才をとくに過ぎたエダヤ系の独身女性がいるのですが、連日連夜ヤンさんの家に泊り込んで慰め、それでやっとヤンさんは最切のショックからは立直ったということでした。よくデスクに両ひじを付きパイプの煙の行方をぼんやりと追っている姿を見かけたものですが、時を待つより仕方なく、ただ我々の出来る事は気心の知れた人間が側に居てあげたり、また時折り手紙を書いて身近に居ることを感じさせてあげることだけだと思ひます。

さて、所属は心臓循環器病研究所という所で、四つほどの生化学あるいは生物物理の研究室のほかは全部医学関係で、所員は二百数十名います。主なスタッフは前回とあまり変わっていませんでしたが、テクニシャン（大部分がマスターコースを出た女性で、子供に手がからなくなつてから再就職する例も多く、実験などの補助をする）やPostdoctorはほとんど入れ換っていました。この研究所は非常に国際的で、この前は所員の七割が外国勢でしたが、最近では比率を逆に三割とする方針だと

聞きました。一つには研究予算の削減ということもありますが、国内でも大学出で職のない人がいるのに、何も外国からという気持ちもあるようです。その影響を受けて日本人の数も減りましたが、日本での世代の交代を反映して、従来のように日本人がろくに自己主張をせず勤勉で悪くいえば効率よく使えるということがなくなってアメリカ人以上にアメリカナイズしてしまった、あるいは国民総生産額が著しく上って輸出が伸びているのに自由化を規制しているということに対する反感も一部にはあるようです。因みにアメリカの大学には助手の制度はなく、講師、助教授、準教授および正教授は独立しており講座制はとっていません。そのうちの誰かが辞めるとその研究室は解消し、次にどの分野の人を呼ぶか討論によって決まります。研究室の予算はNIHのような外部からのものが大きなウエイトを占めていて、業績が上らないと自然に研究費に響いてくるようになっていきます。

向こうではルームを借りて下宿をしました。もっと優雅な生活さすべきだったかも知れませんが、費用の点もあり、また手軽なのでそうしました。家賃はルームで月50ドル以上、アパートまたはフラット（2階建て上下別々の家族が住める）で月130ドル以上というところです。通りに面した窓に、room for rentなどとはり紙がしてあって割合に多くあるものですが、中国人のPostdoctorがついて来て一緒に捜してくれました。81才のお婆あさんで階下に一人で住み、二階を鍵のかかるいくつかの個室、共用のキッチン、食堂、広間と風呂、トイレにして三人ほどに貸していましたが、ニクソン大統領を抱こした事があるとかで、偉くなってからは金持の味方になってしまったなどといっていました。また自分の息子は月2,000ドルもとっているが何も出来ない馬鹿で、それにひきかえ日本人はあらゆる分野で活躍していて大したものだとも話していました。このルームには夜休むときにだけ帰り、食事は専ら大学病院のキャフテリアを利用しましたが、1回1ドル見当で量と質からいっても日本より安いものでした。

今度楽しみにしていた事は、前回知り合った人達に再会することでした。ある人は引越してしまつて暇もなかったのものでそのままになってしまいましたが、サンフランシスコ大学の数学の先生の家族には帰る時まで世話になってしまいました。その間一ヶ月半ほどはその家族が南カリフォルニアに休暇で行つたので会えませんでした。

明日の晩夕食を一緒にしようなどとよく研究室に電話をかけてよこし（招待は奥さんからするのが普通です），また街のあちこちをドライブしたり映画に連れて行ってくれたりしました。また子供に揃いのスーツを買って帰りたいといいますと、奥さんが車でデパートを三つも四つも一緒に廻って、同じ品物でも一番安い店を捜しあててくれたりもしました。自分は姉の子供たちのお古を廻してもらうので、子供の衣類は減多に買わないと話していましたが、あちらの人は金、金といって一寸いやなのですが、それをもっとも有効に使うように心掛けています。また意外だったのは親と子が遠く離れて住んでいるような場合でも孫が生れると手伝いに来たり子供の誕生日の贈り物にせせとセーターを編んだり、また親が病気になるとその間だけ引取って看病したりするところ。もっとも知り合ったのは大学関係が多くつつまじやかな良い家庭ばかりでしたが。何のお礼もできありませんでしたが、日本レストランに案内してビーフ照焼など馳走しますと、しょうゆを使った味付けを非常に気に入ったようでした。アメリカ人専門の一、二の店を除くと味が純日本的で、費用はアルコール抜きで一人5ドル見当で十分でした。シスコでは日本食品は何でも、あわび、かずのこ、活きた鰻なども手に入り、米などはいわゆる特選米よりも上等で安価です。果物が豊富で夏みかん位の大きさのオレンジが一個20円見当、グレープフルーツやメロンと並んで味が忘れられないものの一つです。

一切の費用が向こう持ちでしたので大分頑張って仕事をしましたが、折りをみては市内および市外を歩きました。何処もこの前訪れたところばかりになってしまいましたが、前と変わらず陽気な人々で賑わっていました。シスコには美術館、博物館、動物園など完備していて、特に動物園は猿の種類の豊富なこと、水族館はいろいろな種類の魚を上手に飼育していることで有名で、入場料は一切無料、土、日などの休日には子供連れの家族で大変に賑わいます。また日曜日毎に無料の野外コンサートが二ヶ所で行なわれ、楽団はサンフランシスコ交響楽団ですが、アーサー・フィードラーも毎年一回ずつ指揮します。アメリカ人達は椅子や毛布を持って来て、ピクニックを兼ねて楽しめます。シスコは寒流の流れる太平洋に接し、湾の入り口になって半島の先端に開けた12キロ平方ほどの街なので年中気温があまり変わらず、夏など霧がかかってむしろ寒いほどで、夜などは摂氏11度くらいに気温が下がります。同じ街の中でも場所により、また時間によって霧が出て寒くなりますので、真夏の服装と真冬の服装が共存したりします。シスコから東へ対岸オークランドに渡って少し内陸に入りますと、そこにはも

う真夏の太陽が照りつけ、肥沃なサンオーキン・バレーなどが開けています。またシスコから日帰りもしくは一泊旅行の可能な範囲に州立公園や国立公園が多数散在し休日や夏休みには大変に賑わいます。

そうこうしているうちに3ヶ月経ち（実際は一週間ほど足りませんでした）、帰って来たわけですが、帰国して一週間も過ぎた頃からもう遠い昔のことのような気がしています。今度行って感じたことは、この三、四年の間に物価がかなり騰って少し住みにくくなり、またヒッピー族の出現（シスコのHaight Streetで発祥）が物語るように従来のしきたりが乱れて来つつあるということでした。ヒッピーはもともと体制に反対して生れたものですが、現在は金に困って身を落し店の品物を失敬するような者も出ているようです。この前にはついぞ見かけなかったものですが、赤信号を無視する通行人もみかけました。もう一つは黒人の気概が向上して来たことで、アメリカ国民の割以上を占める彼等が何故に公園などでも見かけないのかと不思議に思ったものですが、今回はいろいろな所で良く見かけますし、研究室のグラス・ウオッシュャーの黒人のお婆さんが自分の誕生パーティーに皆を呼んだりするほどになり、表情も生き生きしていました。しかし肩を張りすぎるくらいがあり、彼等に対する反感もあるようでした。

初めてシスコに来た人に感想を聞いてみると、落ち着いて静かな良い街だと答えますし、事実、東京（三年前まで住んでいました）や大阪などの大都会に較べたら本当にそうだと思います。大部分のアメリカ人は変っていないのですが、それでも少しずつ変わって来ているのは確かなようで、またこの傾向はアメリカに限った事ではないのかも知れません。しかしどのような事があっても何時までも美しいカリフォルニアであって欲しいと、明かるい太陽を思い浮べます。話す言葉や風習に違いはあっても、人は何処でも同じように喜びもし悲しみもしています。外国から帰って来ると、些細な事に拘泥するのは実につまらないことだと感じますが、月にまで人類が行ける世の中です。世界の主要な指導者をアポロに乗せて一週間も月旅行させたら、よほど世界が変わって来るのではないかなどと考えたりしています。

（筆者：いづか・えいさく、信大助教授、繊維学部 共通講座物理）

——会費を納めて下さい——

会費は年額500円です。支会扱いの会費に対しては会費の30%を支会へ活動費として交付します。なお過年度分未納会費も納入下され本会活動が活潑に出来ますようご協力下さい。

窪田大作氏（農1回）農学博士となる

農林省畜産試験場（千葉市）技官の窪田大作氏は「産卵鶏のカルシウムおよびリンの利用および要求量に関する研究」の論文を九州大学農学部提出され、44年5月に同大学から農学博士授与の栄養を得られた。

同氏は母校旧制の繊維農業科第1回の卒業で、農林省畜産試験場に就職、同場化学部で家畜飼料の試験研究20年間の業績をまとめられたのである。この研究の主要部分である「産卵鶏における無機物代謝および可消化養分量に関する研究」では昭和42年度の後藤養鶏学術奨励賞を受けられた。

なお今後の御活躍を期待する次第である。

柳沢幸男氏（農4回）農学博士号を受く

同氏には去る11月12日九州大学農学部教授会に提出中であつた論文「亜麻の栽培学的並びに生理学的研究」によって、学位号が授与された。同論文の骨子を簡単に紹介すると次のようである。

第1章、亜麻の繊維細胞における組織学的研究において、生育に伴う繊維細胞の形成過程、とくに、良質な繊維

維がいかんして形成されるかを説いた。

第2章、生態学的考察において、光、温度、水分等が亜麻の生長および繊維細胞に及ぼす影響を明確に示した。特に光と繊維収量、土壌水分とセルロース含量及び、繊維品質について解明した。

第3章、水耕栽培法によって、亜麻の生育と良質繊維の形成に必要な各種要素量を決定した。特にP及び微量要素（Mo）とその関係を明らかにした。

第4章、日長効果に関する研究において、 α -セルロース含量は短日条件によって大となるが、繊維収量は減少することを述べ、繊維収量を高め、しかもその品質を向上する最適な日長条件を求めた。

第5章、亜麻繊維の物理的性状に関する研究において最も要求されるところの強力が大となる栽培環境、生育条件等を明らかに示し、収量と品質との相互関係を明確に提示した。

以上の如く、今まで誰も究明しなかつたところの、亜麻繊維の作物生理学的見地ならびに、繊維品質の物理的性状まで極めたことは、今後、化学繊維との混用によって、益々需要が増してきた植物繊維の生産に寄与するものである。

（筆、田中茂光）

養蚕工場の誕生!!

機械化養蚕への出発!!

弊社が既に完成実用化した自動飼育機械

・壮蚕用自動飼育装置

半自動式……1人10箱担当、協業経営用
全自動式……1人20箱担当、企業経営用
小型個人用……1戸10～15箱飼育、個人経営用

・稚蚕用自動飼育装置

貯桑室→自動剝桑機→ホッパー→コンベアー→
自動給桑機→蚕座まで、一連のコンバイン方式

・稚蚕用簡易給桑機

従来の箱飼い、箱飼いの給桑自動化

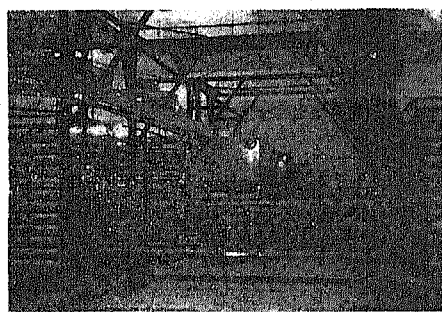
・自動調桑機（壮蚕条桑用）

桑葉もぎ取り式太条部除去

・自動大型改良剝桑機

大型飼育所用、能率3倍以上

・その他各種の飼育機械、器具の受注を致します。



稚蚕飼育工場

愛媛県広見町養蚕農協（本年3月設置）

信大繊維学部、農林省、全養連、各県養蚕試験場のご指導とご推奨を賜っております。



信光技研有限会社

長野県上田市常入1166（産業通り1丁目）

TEL 上田 ②7135 ②0031（夜間専用）

第30回千曲会定期総会記事

第30回千曲会定期総会は例年の通り11月23日勤労感謝の日午前10時から、母校第1会議室で開かれた。出席者は27支会から代議員、役員合計92名、委任状26名であった。

総会次第

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 開会のこぼと | 関博夫理事 |
| 2. 理事長挨拶 | 小林運美理事長 |
| 3. 名誉会長挨拶 | 白樫侃繊維学部長 |
| 4. 議長選出 | 浜香三議長
和田敦副議長 |
| 5. 報 告 | |
| 1) 一般会務報告 | 関博夫理事 |
| 2) 厚生部報告 | 小山長雄理事 |
| 3) 動静部報告 | 松沢秀二理事 |
| 4) 会報部報告 | 竹田寛理事 |
| 5) 利用部報告 | 白井要範理事 |
| 6) 財団法人上田繊維科学振興会報告 | 北条舒正理事 |
| 7) 菅平部分林管理報告 | 白井要範理事 |
| 6. 議 事 | |
| 1) 昭和44年度歳入歳出決算について | (本部提出) |
| 2) 昭和45年度歳入歳出予算について | (本部提案) |
| 3) 母校60周年記念事業について | (本部提案) |
| 4) 会員の再就職斡旋事業の高度化の実現を期せられたい | (山陽支会提案) |
| 5) 会員の動静報告方法の制度化の実現を期せられたい | (山陽支会提案) |
| 6) 千曲会の現行運営の在り方と会員の年代対策について | (山陽支会提案) |
| 7) 賛助会員の推挙について | (本部提案) |
| 8) 会員の表彰について | (本部提案) |
| 9) その他 | |
| 7. 懇 談 | |
| 1) 蚕糸教育の改善について | |
| 2) 支会の現状報告 | |
| 8. 閉会のこぼと | |

総会終了後、午後6時よりささやで懇親会がおこなわれた。

総会討議の概要

議長選出は理事長一任の動議により東京支会の浜香三氏が議長に、北奥支会の和田敦氏が副議長に選出された。報告事項については各部担当理事から詳細な説明があり議事に入った。

昭和44年度歳入歳出決算について土屋幾雄理事から説

明があり、井沢喜三監事より監査報告がなされた。議案(1)は原案通り決定した。

昭和45年度歳入歳出予算についても同じく土屋幾雄理事から説明があったが、これに関連して宮城支会から、老人会員に対する会費免除を行なう優遇をしてはどうかとの発言があった。近畿支会、鹿児島支会より会費を40回完納すれば会費は免除となるので40回完納を進めるべきだ。また山陽支会から現行の年額500円の会費を800円か1,000円に値上げしてどうかという意見があったが過年度会費を納入して会費完納するようにきまった。本部事務の円滑化をはかるため山陽支会、北佐久支会、宮城支会などから人件費増額を求める意見が出された。とりわけ財源としての会費の納入率を上げる工夫を求める声が高かったが、山陽支会から同支会で実施している個別的な会費請求法や会費納入状況のリストなどがひろうされて出席者の注目を集めた。議案(2)は原案通り決定したが補入料の増額については理事会に一任された。

母校60周年記念事業については関博夫理事が立って、25周年や50周年記念ほどに盛大なものとする予定はなく学校側からの提案に協力する方針であるとの本部の立場をのべた。宮城支会から学部の説明を求める声があり、白樫学部長が、(1)蚕糸学会と繊維学会を上田で開催する予定である。(2)現在学部長室にかざられている針塚、井上元校長の肖像画に並べるため、伊藤前学部長の肖像画を作りたい。との2つの事項が示され、山口定次郎顧問から、蚕糸学会は4月6日から9日までの4日間上田で開催することに決まっていることなど、くわしい説明がなされた。

午後に入って、会員の再就職斡旋事業の高度化を期せられたい、との提案が山陽支会から出され、本部の厚生部が行っているこの事業のPRを徹底するため、千曲会報に何回も広告を出すこと、およびこれに関する予算を確立することが要望された。

会員の動静報告方法の制度化の実施をはかられたい、との山陽支会からの提案は、死亡報告を徹底させることを求めたものであり、宮城支会から遺族の住所も名簿に記載して欲しいとの要望も出された。本部側から死亡通知は直接千曲会本部へ送って欲しいこと、遺族の住所を調べることは相当困難であるが、次回の名簿作成時に参考にした、との回答があった。

千曲会の現行運営の在り方と会員の年代対策についてこれも山陽支会から提案されたものであるが、若い会員の無関心さ、繊維関連産業以外の分野の人々の断絶を解消するために定款第1条を改正し、支会長を理事にして会員全体が役員選挙に参画できるようにして欲しいと要望された。また千曲会館の新築も提案されたが、北条舒

正副理事長より、現実に遠距離の支会長を理事とすることによる理事会運営の困難さ、千曲会館新築は学内敷地でも差しつかえない様子であることなどの説明がなされた。続いて山陽支会、近畿支会から会員との接触をはかるため、完全な支会員名簿を次々と支会に配って欲しいとの発言があり、関博夫理事はこれを善処すること、名簿を完全にするため各支会の協力を仰ぐことを述べた。

この他、会員のつながりを深める方法として、県庁の会、東信千曲教育研究会、農協関係の会、千和会など、部門別の会を開くこと、名簿を完全にするため各支会へ名簿作成用の用紙を送って欲しいとの希望が出され、本部も了承した。

賛助会員の推挙については本部の関博夫理事から共通講座佐藤弘講師、井口雷三管理係長を本会の賛助会員としたい旨説明があり、全員の賛成を得た。

会員表彰については同じく関博夫理事が第3回目の表彰と記念品贈呈の候補に福島支会会長原田種亀氏並に鹿兒島支会会長中山吉二氏と本部の小山よし子さんを推挙し、全員の拍手のもとに原田氏、中山氏には表彰状が、また小山さんには記念品が贈呈された。

今年は役員の改選がなく、その他の議案も提出されなかったもので、これで議事を終了した。このあと直系教育の改善、支会の現状報告に関して懇談に入った。5時半全日程を終り第30回本会総会は終了した。6時から市内ささやで懇親会を開催した。

昭和44年度社団法人千曲会歳入歳出決算書

歳入決算額 金 1,981,220円

歳出決算額 金 1,801,848円

昭和45年度繰越金 金 179,372円

昭和44年11月23日

社団法人千曲会理事長 小林 運 美

歳 入					
項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	増	減	備 考
1. 前年度繰越金	170,000	204,159	34,159		
2. 会 費	1,127,500	1,118,180		9,320	1,113名 203名
3. 入 会 金	210,000	203,000		7,000	203名
4. 基本財産利子	257,750	341,340	83,590		
(1) 基本財産利子	136,350	143,101	6,751		貸付信託
(2) 厚生部 活動資金利子	121,400	198,239	76,839		電話債券
5. 基本財産 施設使用料	30,000	12,700		17,300	13件
6. 広 告 料	56,000	33,800		22,200	
7. 名簿売上代	235,500	46,441		189,059	名簿発行 費繰入金

8. 雑 収 入	10,750	19,500	8,750		
(1) 普通予金利子	5,500	5,120		380	組糸の構 造代外
(2) 雑 入	5,250	14,380	9,130		
9. 寄 附 金	1,000	2,100	1,100		
合 計	2,098,500	1,981,220		117,280	

歳 出					
項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	増	減	備 考
1. 会 議 費	305,000	228,870		76,130	
(1) 代議員旅費	130,000	101,680		28,320	48名
(2) 総会需用費	30,000	17,780		12,220	
(3) 役員旅費	110,000	74,840		35,160	56名
(4) 役員会需用費	35,000	34,570		430	
2. 事 務 所 費	463,100	397,512		65,588	
(1) 給 料	240,000	240,000			書記給料 会報作業
(2) 備 人 料	18,000	29,930	11,930		
(3) 旅 費	110,000	54,910		55,090	15名
(4) 役員交際費	15,000	7,770		7,230	
(5) 賞 与	100			100	
(6) 備 品 費	5,000	800		4,200	職員録
(7) 消 耗 品 費	17,000	8,376		8,624	
(8) 会費集金費	16,500	15,510		990	新入会員 懇談会費
(9) 通信運搬費	21,500	23,056	1,556		電話料、 切手代
(10) 雑 費	20,000	17,160		2,840	証書入紙 筒 200本 登記簿謄 本料
3. 事 業 費	656,500	674,314	17,814		
(1) 会報発行費	537,900	566,334	28,434		
1) 編 集 費	5,500	5,176		324	委員会費 No.170~ 173号
2) 印 刷 費	309,400	336,500	27,100		
3) 送 料	208,000	177,093		30,907	4 回 宛名カー ド、封筒
4) 需 用 費	15,000	47,565	32,565		
(2) 出 版 費	100			100	
(3) 会 員 名 簿 発 行 費	50,000	30,000		20,000	
(4) 講演講習諸費	15,000	13,680		1,320	
(5) 研究補助費	5,000	5,000			科学振興 会補助
(6) 調 査 費	18,000	20,200	2,200		
(7) 表 彰 費	15,500	16,100	600		3 名表彰
(8) 慶 弔 費	15,000	23,000	8,000		
4. 基本財産施設費	50,000	41,754		8,246	
(1) 備 品 費	12,000	2,000		10,000	ボット
(2) 管 理 費	15,000	13,867		1,133	委託管理 費
(3) 光 熱 水 費	9,000	9,957	957		水道料、 電気料
(4) 公 租 公 課	14,000	15,930	1,930		固定資産 税

5. 厚生部活動費	121,300	37,760	83,540	就職斡旋活動費
斡旋活動費	121,300	37,760	83,540	
6. 基本財産造成費	210,000	203,000	7,000	203名
7. 会費納入交付金	270,600	218,638	51,962	40支会
8. 予備費	22,000		22,000	
合 計	2,008,500	1,801,848	206,652	

昭和44年度基本財産状況

基 本 財 産	基本財産保管状況
固定資産	1,114,600円
不動産	1,114,600
土地	563,550
建物	551,050
流動資産	3,726,574
基本金	3,726,574
一般基本金	1,992,489
厚生部活動資金	1,734,085
合 計	4,841,174

千曲会員名簿発行費報告

収 入

項 目	予算額	収入額	増	減	備 考
補助金	250,000	281,346	31,346		一般会計より補助金
広告料	816,000	857,180	41,180		165会社広告料
名簿売却代	750,000	522,570		227,430	売却数 1090 未納数 102
利 子	1,000	7,160	6,160		寄 贈 338 在庫数 440
合 計	1,817,000	1,668,256		148,744	

支 出

項 目	予算額	支出額	増	減	備 考
編集費	100,000	116,460	16,460		雇入料
印刷費	1,125,000	1,120,000		5,000	1970冊 B 5 版 539頁
通信運搬費	110,000	89,480		20,520	切手, 電話料 10,080円 送料79,400円
広告募集料	214,000	222,260	8,260		広告募集手数料
消耗品費	66,000	25,115		40,885	封筒, 包装, 文具費
一般会計繰入金	202,000	46,441		155,559	在庫名簿売却 充当予定
合 計	1,817,000	1,619,756		197,244	収支残高48,500円は次年へ繰越

昭和44年度千曲会菅平部分林管理費報告

収入 103,431円 支出 6,080円 残高 97,351円

昭和45年度通常会計歳入歳出予算額

歳入予算額 2,296,300円 歳出予算額 2,296,300円

差引残高 なし

財団法人上田繊維科学振興会43年度歳入歳出決算額

歳入 353,610円 歳出 289,725円 残高 63,885円

財団法人上田繊維科学振興会45年度歳入歳出予算額

歳入 341,170円 歳出 341,170円 残高 なし

第30回社団法人千曲会総会出席者

(順序不同, 敬称略)

理事長 小林 運美 名誉会長 白樺保学部長
 北 奥 和田 敦 宮 城 山本友之丞
 山 形 前田雅弘, 齊藤幸蔵
 福 島 原田種亀 茨 城 谷沢 衛
 栃 木 岩下嘉光
 群 馬 日崎武美, 小平一彦
 千 葉 影山省三
 東 京 小林運美, 浜香三, 鈴木昭, 齊藤義臣
 中島睦男
 神奈川 伊藤誠, 神立均
 石 川 斉田 新次
 北佐久 大山融, 小山俊吾
 南佐久 松永省治, 前島正直
 上 小 浦生俊興, 母袋忠右エ門, 猪坂直一, 笠原正巳
 山口定次郎, 関博夫, 北条舒正, 町田博, 山崎
 啓録, 山崎寿, 竹田寛, 小山長雄, 土屋幾雄,
 田中一行, 田中茂光, 矢澤沢清允, 松沢秀二,
 小林勝, 柳沢幸男, 松尾卓見, 笠原義人, 平川
 清一, 押金建吾, 坂口育三, 武井隆三, 島田潤
 一, 久保田昌人, 島田林助, 滝沢達夫, 桜井善
 雄, 遠藤恒久, 白井汪芳, 小笠原真次, 島崎昭
 典, 武田正男, 美齊津利正, 関口定, 篠原昭,
 村上幸子, 清水晃, 小山よし子, 宮本聡一, 茅
 野功, 井沢喜三, 青島二郎, 倉沢秀一, 竹内彦
 保, 西沢正一, 林 貞男, 窪田巖, 白井要範
 更 埴 金野巖保
 北 信 宮崎秋雄, 宮沢孝雄
 安 筑 永井千治, 舞沢俊治, 大久保孝一
 諏 訪 小松忠幸 竜 川 野口新太郎
 愛 知 金井賢太郎, 田村義隆, 稲垣文一郎, 小山田峻
 三 重 鈴木正悟 近 畿 林 利金
 京 滋 宮沢 岬 兵 庫 鈴木玄九
 三 丹 金井 保 山 陽 江野村一雄
 鹿児島 中山吉二

さん

健康増進と老化予防

久保田昌人

私は、母校卒業以来、50ケ年に垂んとして70歳の老境に入ったが、今のところ、大した老化現象もなく、歳を忘れ、歳を考えず、余生を健康法指導と指圧治療に挺身出来る自信がある。私の後援会員たるテレビドクター近藤宏二医博も、知人の中で、私位の年輩では、私だけの若さと健康の持主を見たことがないといわれた。この原因も過去17カ年に亘り私の創案による健康法実行の賜ものと思い、12才の少年の気魄で、今後60年以上頑張り抜き、日本の最高齢者になろうとの夢をもっている。

幸い、次男は医師となり、甥二人医師がおり、万一重病となれば、天下の名医の診断治療を受けられる境遇にある。

◇尊敬する先輩諸兄の中にも、大分物故者が多くなり、千曲会報への寄稿者は、戸倉八峯氏だけの様な気がし淋しくてならない。兎角、齢をとると、読書や文章を書くことを億劫がる向が多いが、私は、頭の老化予防と運動と思い、努めて読書、習字、原稿書きをすることにしている。千曲会報にも数回寄稿したし、日本老友新聞、老壮の友にも再三健康法について掲載されたので、健康法に付き全国から多数の照会があって嬉しい悲鳴をあげる位である。

◇祝日として「体育の日」が制定され国の機関、体力づくり国民会議が中心となって、相当額の予算を計上し、国民の体位の向上と体力増進させるよう全国市町村に呼びかけていることは、周知の通りである。今のところ笛吹けども踊らずの感あるは、皮相の見方だろうか。

◇私は、既往に於て、リウマチ性関節炎で二回、虫垂炎で一回、合せて三回

の入院体験者で、無病息災とはいえない。然し、55才から5年間に亘る私の創始した健康法の実行により、他の追従を許さぬ抜群の健康作りに成功したことを、誇りとしている。60代は、薬局調製の駆虫剤二服飲んだだけと安心していた矢先、70才になった一昨夏チョットした油断から、風邪を引き、三十八、九度の高熱を出し、4月ほど入床、医師の治療を受けたのは、痛恨事であった。

今春在京中、私の後援会員たる日本老壮福祉協会保健部長双立病院院長双津幸男医博に、血圧を測っていただいたところ、最高140、最低80、脉搏は72、長寿疑いなしとの折紙をつけて下すった。私は、血圧、脉搏とも、20年来変りない。

◇老化の順序として昔から、人口に膾炙されている、齒の方は、私は本年一部入歯にしかたけで、大した不自由を感じない。眼は、強度の近眼であるが20代の近眼鏡をかけたまま、細字の読み書きができる。またどうやら性の方も具原益軒の養生訓の遵奉者でもなく20年前と大して変りもない。

◇この他、老化現象は、首、肩、腰の硬軟により、測定できるように思う。齢の如何を問わず、半健康とか警戒反応とかいわれている病気の予駆症状は首筋が張ったり、肩がこったり、腰が重く、脚がだるくなったり、手足が冷えるようになるのが通例である。50才を過ぎて、特にその傾向が著しくなるようである。これも結局、臍を中心に存在する重要器官の消化器官、性腺、膀胱、腎臓、副腎などに、何等かの故障が出ていると思ってよいではあるまいか。これ等の故障を除き、柔軟で弾力性のある体にするには、自然治癒力の旺盛な医薬のみに頼らず、健康法実行が、最良の方法と、私の過去の体験から断言出来る。

◇皮膚は、呼吸を営む重要器官で、内臓の鏡といわれ、皮膚の色の良否により、健否が判定できると思う。一般に

男女を問わず、40才を過ぎると、皮膚に、老化現象が出、皺、しみなどができ、頭が禿げたり、頭髪が白くなる傾向である。皮膚の老化予防には、合理的な栄養の摂取と皮膚の刺激による鍛練以外に方法ないと思う。

私は、皮膚の鍛練として、米国の健康指導家ハウザーの提唱している空気浴（就眠の時裸体で寝る）の他、毎朝乾いたへちまで力一杯求心的にこすり皮膚の赤くなるまで平手打ちをした後冷水摩擦をしている。頭髪は、毎朝ヘアブラシで百回強く摩擦して、毛根に刺激を与えている故為か、白くもならず、禿げもしない。理容師も、私の顔の皮膚と毛髪の若さには驚いている。私は、永年に亘る皮膚の鍛練の効果が顕われ、皮膚にしみもせず、今のところ、顔にも皺が出ないし、底先りの小麦色の皮膚の持主である。

私の後援会員たる一松定吉翁（元衆参両議員、元厚相）は、95才で、現役の弁護士であるが、法廷にも立たれるし、九州辺迄平気で旅行されれるのである。

一松先生は、永年に亘り、私と同様に乾いたへちまの摩擦と冷水摩擦とを実行されておる度ことで、どう見ても70才ソコソコである。同先生を観察して皮膚の鍛練が、如何に健康、長寿に効果あるかがよく判る。恐らく、同先生は、日本屈指の長寿者になられることは確実である。

◇圧痛という、指先で押せば、健康体でない限り、必ず、痛い箇所即ち圧痛点がある。最近では、西洋医学でも圧痛点を重要視するようになったが、東洋医学では、昔から圧痛点を重要視し、鍼、灸などの治療に当たっていた。

圧痛点を除くには、私の過去17年間怠らず実行して来た頭、腕、首、胸腹、脚の運動の他、70才を契機に、毎日実行している左記の寝床の上の運動を、朝離床の前と夜就眠の前、十分間位すれば、効果顕著である。どんなに忙しい人でも、朝、夜十分間寛、寝床

の上の時間を割愛出来るのではあるまいか。この運動だけでも、前日の疲れはとれ、スタミナのある体になることは確実である。

寝床の上の運動の要領

(1)寝床の上で普通のあぐらをかく。

④首の運動

- 首を前後に屈げる 10回
- 首を左右に屈げる 10回
- 首を左右に向ける 10回
- 首を左右に廻らす 10回

⑤腕、肩の運動

- 両手で交互に両前肘を握り、左右に動かす 30回

(この時はなるべく体をねじるようにする)

- 同じ姿勢で上下に動かす 30回

(この時はなるべく激しく体を動かす)

(2)普通のあぐらを、座禅のあぐらにのみかえる。

⑥腰、脚の運動

- 上半身を左膝につくように屈げる
次に右膝につくように屈げる、左右交互に静かに行う 10回

(3)あぐらをとき両足裏を合せ、上半身に近づける(両膝が寝床の上につくようにする)

- 右の姿勢で上半身を寝床の上につける運動 10回

- 両脚を前方に揃えて伸ばし、頭を両膝につける屈伸運動

表、裏20回宛

脚の表側は静脈が通っているので両手で足先から大腿部に向かってこすり上げるようにする(求心的)

脚の裏側は動脈が通っているので大腿部から足先へこすり下げるようにする(遠心的)

脚をできるだけ左右に捻げる(蒲団の両端に足先がつく位までが理想的)

- 足首を引くような気持で上半身を左膝につける。次に右膝に同じ運動をする

交互20回(できれば50回)

(4)あおむけに寝る。

- 両手で両膝をかかえる。少し反動をつけて起きる運動 10回

- 両膝を立てる。両膝を揃えて片方に倒す。下になった方の膝は寝床につかなければいけない。(この時両肩は寝床から離さぬことが理想的) この運動 10回

- 両手、両足を合せる。手、足を一緒に伸ばす運動 10回
(この時両手は胸部、両足は上半身の前で合せ、努めて元氣よく伸ばすことが理想的)

- 寝床の上に座って、そのまま上半身を後に倒す。5、6秒で起きる。

(この時は膝の上らぬようにするのが理想的)

(5)寝床の上で立ち膝の姿勢になる。

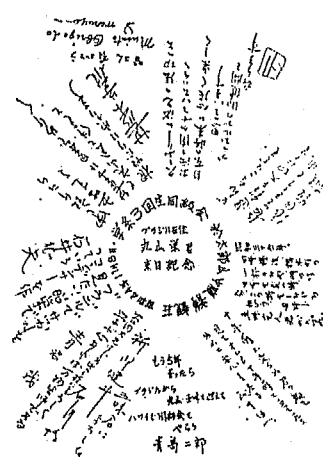
- 両手の握り拳で、両肩、臍の後の腎臓上(二カ所) 臍の下(二カ所)を50回なるべく強く叩く。

- 右の姿勢で深呼吸を3回する。

以上で運動は終る。

(筆者：くぼたまさと、蚕7、久保田式健康法普及会長)

在ブラジル丸山栄君を迎えて



「今日は楽しいウチダ(内田先生)

けの仲間同志の同窓会、タケイ(武井伍一)会費を払っても、ヨツダ(依田恒雄)ふりして唱っても、昔の仲間はなつかしい。タンナカ(田中幸男)っ

たら俺がもつ、なんて云われりやなおいいシイ(石井征夫)、メートルあがればアラキ(荒木守雄)もち良い。夢を見るよな心持ち、だけどせまい日本にや住みあきた。行きましょ世界の涯までも、どうせ行くなら南米へ、日本男子の心意気。アオイヌマ(青沼先生)にはミドトガメ、空にはマルヤマ(丸山栄)お月様、見渡す限りの大農園でイシカワ(石川先生)ばちかの男の勝負、丸山さんの御健斗祝って祈ったつづり方、あまり長いはお耳の毒よ、それではこころでアオシマ(青島二郎)いだ」

すっきりと落込んだ青空に紅葉の太郎山の映える11月8日ブラジル製糸業界で活躍中の丸山(栄)君の十数年ぶりの来日を観迎して学糸3回生の同級会を上田市一望に見下す静観荘に於いて開催した。

突然の催しのため、参加者は冒頭のつづり方に読み込まれた3先生を含めて10名であったが、同級生全員が連絡を呉れ、中には卒業以来はじめて連絡がついたものもあった。

石川先生の訓辭と丸山のブラジル生活現況報告が済み、東日本学生落語界のチャンピオン信濃善光師匠が出演するに及んで雰囲気は急転、学生時代のコンパに戻った。出席者名読み込みの丸山観迎のつづり方に続いておいろけまじりの小唄を一席伺って座を爆笑させたあと卒業以来十数年の年月と授業料をかけた珍芸、珍声が飛び出し、大広間もたった10人で割れんばかり。感激家の丸山は「オレはもう夢のようだ」と酔った顔を益々赤くして、ブラジルの性生活会のあり方まで発表する有様。そしてブラジル土産の蝶の翅だけで描き出された息を呑むような美しい模様画が披露された。

朝鮮動乱終結後の当時の就職難に動揺していた我々は製糸の将来に不安を感じつつただ漠然と卒業してしまっただが、今ここに見る大きな成長ぶりはどうであろう。こんな感慨をよそに学生

時代の癖を丸出しにして、教職にあるものは学生運動について先生方に議論をぶち、技術家は難問をもちかけている。そしてその合い間にお酒の追加の催促である。徳利が50本余り倒れてまたたくまに5時間が経過し深更に及んで女中たちがうろろうしはじめたので万才とお手を拝借のひとつで名残り惜しく一応散会。

同級生だけ残って猶、話もつきやらず、さりとて二次会には時既に遅く、やむを得ず宿の帳場より冷酒一升譲り受け車座となってコップ酒となった。しかし今度はじっくりと技術家、教職企業家と夫々の立場から社会状況から始って学生問題、就職問題等意見を交え、やがて酒も尽き果てて床についた時には鶏が啼きはじめていた。

今回の同級会は一同は心を一にして楽しみ十数年の間隔をいっきょに取り戻し、又出席出来なかったものも心を寄せ合って全員連絡し丸山を励まして呉れた。幹事としては同級生全員の消息を知り、これほどやり甲斐のある同級会はなかったと、この喜びを千曲会報の貴重な紙面を拝借して報告する次第。 (文責：青島、武井)

財団法人上田繊維科学振興会

研究助成希望者募集

第9回振興会助成金交付希望者を次の要領で募集する。

- ① 応募者は5月10日までに振興会理事長あて申請書を提出すること。
- ② 応募者は個人または協同研究とし、ある程度の成果を得ているものとする。
- ③ 研究助成金交付は研究助成委員会において選定する。
- ④ 申請書は本会あて申し込めば送附する。若い層の研究員の応募を希望する。

会員名簿お求め下さい

千曲会員名簿発行についてはご高配を賜わり御礼申し上げます。各支会を通じ又は直接ご注文購入いただきましたが残部がありますから会員は1冊必ずお求めご利用下さい。

1冊 600円(送料を含む)

但し千曲会窓口渡しの場合は1冊 500円

体裁 B5版 横組式 卒年別、支会別、職域別

社団法人 千曲会動静部

新增沢の蚕糸機械

蚕糸機械器具製造販売

新增沢工業株式会社

取締役社長 宮坂美寿雄

本 社 長野県岡谷市加茂町一丁目2番5号
営業所 東京都台東区上野七丁目11番6号

煮 繭 機 の

井口工業株式会社

本社工場 長野県岡谷市銀座2丁目12-18
電話 岡谷 (02662) ③3288 (代表)

第2工場 長野県岡谷市加茂町4丁目3-5
電話 岡谷 (02662) ③4668

学園あらかると

菅平や烏帽子には白雪が輝き、空は青い。これほど樹木や敷地の空間がコンクリート建物の白やベージュと良く調和している学園も珍らしい。都会の積み木細工のような校舎に比べ、何とここは美しいことか。時おり、近くの小中学生が先生に引率されて写生に来ている姿をみかける。また地面に雪はない。

昨年全国に流行した学園紛争は、この上田にも波及して、一時は校舎封鎖のきざしもみられたが、教職員、学生の適切な行動により未然に防ぐことができた。今はもっと基本的な問題である教科内容改善について、教官と学生とが真面目にとり組み、歩みこそ遅いが着実な成果をあげつつある。

夏以来、これといった行事もなかったが、恒例の学部祭は10月31日から11月4日までの5日間にわたって開催され、今年は企画の成功により学生の動員数も多かったようである。その他の学部対抗等のスポーツ大会は、今年当番校でないため上田では行なわれず、昨秋は全般に静かであった。

関東甲信越大学農場

研究集会開催さる

全国大学農場協議会の地域部会である関東甲信越大学農場協議会の昭和44年度総会並に第26回研究集会が去る6月13、14日の両日、母校付属農場において開催された。総会（会長菊地正仁宇都宮大学付属農場長）は旧年度の事業、会計報告と新年度の事業計画、予算を議し、特別講演として「欧米の農場教育」と題して明治大学の小宮書之助教授の視察談があり、研究集会では下記の発表があった。

人為倍数性桑樹の育成と実用性

関 博夫

くるみの栽培と収益性 町田 博

養蚕機械化の現状と問題点

田中茂光

このあと学内農場の見学があって、別所温泉花屋ホテルに宿泊、翌日は青木村農蚕共同飼育所、上田市の笠原工業（製糸工場）、学部附属農場の学外大室農場、北御牧村の果園芸試験場特用作物試験地を視察して、午後4時上田駅で解散した。12大学の農場関係者40名が参会し、地区の会合として実に盛会であった。

45年度繊維学部学生募集要項

今年の入学試験は3月23日、24日の2日間行なわれる。募集人員は、繊維農学科30名、繊維工学科50名、繊維工業化学科45名、繊維機械学科50名、繊維化学工学科40名で、試験場は信州大学繊維学部（長野県上田市常入）で行う。なお出願期日は2月12日から2月21日までである。

大学院繊維学研究科（修士課程）第2次学生募集要項

45年度信州大学大学院繊維学研究科の専攻別募集人員は、繊維農学11名、繊維工学5名、繊維工学化学4名、繊維機械学4名、繊維化学工学6名で、出願期間は2月16日から3月5日である。学力試験等日時は3月12日で信州大学繊維学部構内で行う。

繊維機械学会開かる

去る12月6日、日本繊維機械学会信越支部総会並びに講演会が本学に於て開催されました。

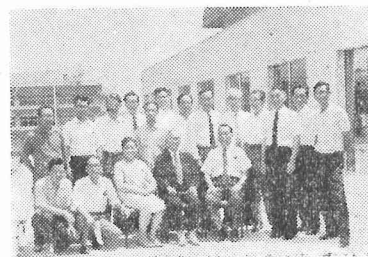
午前中は内外の研究発表が行われ熱心な討論がくりひろげられました。午後は総会に引き続き、特別講演として蝶理株式会社繊維開発室長川崎健太郎博士が「明日の衣生活と衣服を探る」と題して講演されました。織物物性からマーケティングリサーチにわたる豊富な知識と手法を駆使して衣服の発展の方向を示され、聴衆に深い感銘を与えました。

支会だより

茨城支会だより

昭和44年7月20日には、茨城支会としてはかつてはない感激的な集いが開かれたのであります。そのあらましを次に紹介しておきます。

即ち今回勲三等旭日中綬章を受けられた蒲生先生御夫妻が、先生の御郷里である龍ヶ崎市に墓参においでになられた折、水戸に立寄られたので、私共お迎えすることができたのであります。先生も又奥さんもお歳とは思えぬ若々しきで快活にお話されるので、本当に楽しく愉快に懇談できたことをうれしく思いました。



又一方前茨城支会の会長を三十年以上に亘って勤められた名会長の令名高い船後勇平氏も今回の恩賞にあずかり勲四等瑞宝章を授与されました。これ又お目出たい限りであるからこの機会に船後氏の御祝いの致すべく氏の御出席を御願い致したのであります。（千葉市稲毛海岸在住）同窓の有志一堂に会し大いに語り和気あいあいたる集りを得たことは特筆すべきものであったことと存じます。

又御中元の季節でもあって諸事のバツミの時期で何かと御忙しい時でもあった。それに加えて三十二度の猛暑の日でもあったがよく万障を排して御来会下された会員の皆様には心から感謝を申し上げる次第であります。

母校も時代の進運と共に発展的改革が行われるようでありますが、その改革が建学の精神をふみはずすやに見受

けられる節もあるので……本会の名に於いて母校の改革には更に慎重を期し最善をつくすよう一層の努力を切望する激励電報を母校に送ってこの有意義な会合の幕を閉じた次第であります。

当日の出席次の通りです。

前沢 (蚕14), 山田 (紡11), 加藤 (蚕19), 竹内 (蚕19), 堀川 (蚕20), 生天目 (蚕25), 谷沢 (蚕26), 塩入 (蚕30), 米川 (蚕33), 影山 (蚕33), 永井 (化4), 大工原 (蚕36), 小原 (糸37), 上野 (学蚕1), 伝田 (学蚕3), 金井 (学蚕3) (前沢康雄記)

山梨支会開催される



昭和44年11月21日, 長野市あさひ荘において北信支会が開催され, 本部より竹田寛理事が出席した。北信の各地の各職場から40数名の出席者があり, しかも若い人達が多く集って極めて盛會裡になごやかな同窓会が行われ非常に有意義であった。その際, 新役員に次の方々が選出された。

昭和44年11月12日, 甲府市において山梨支会が開催された。ちょうど当日は, 日本蚕糸学会中部支部の第22回研究発表会が甲府市において開かれた日の夜であった。それで母校から多数の教官が出席している好時期であったので, 多数の先生方のご招待を受け, 各々かくし芸やら得意の歌披露があり夜

の更けるのを知らない程の盛會であった。鶴田定平大先輩は立派な漢詩を披露され, また若い人達は武田武士の舞いなどと盛り沢山の宴となった。

集った人達は寄せ書きにあるとおり多数であった。

兵庫支会だより

六甲おろしもやや霜寒さを覚える11月14日港都神戸市内の清月荘で, 恒例の支会総会が開催された。

岩本支会長の挨拶に始まり, 経過報告, 会計報告などが行なわれ, 遠路はるばる四国松山での学会の帰途を本部よりご出席頂いた田中茂光先生の千曲会ならびに母校の近況, 蚕糸教育の問題点などのお話をお聞きした。次に本年は役員改選期に当るので千葉達人氏を長とする選考委員により新役員の選出に当たったが, 全員留任ということになり万場一致で承認された (支会長: 岩本賢次 (神戸糸検) 副会長: 佐藤正明 (筒井商店), 小山彰一 (神栄), 幹事: 木村正美 (鐘織), 里憲郎 (三菱商事), 宮入治男 (神戸糸取), 丸田節男 (神戸糸検), 石井昭衛 (同)。また本部総会出席代議員に鈴木玄九氏を選出し続いて宴会に入り賑やかな談笑の内にも支会のあり方, 本会の提出議題について意見の交換があり, また支会総会についていかにして若い人達の出席を促すか, 会費納入の促進対策なども論議され, 支会としてもこれらの意見を今後の運営に十分反映したいと考えている。幸いにして本年は大家重蔵 (神戸問屋協会), 鈴木玄九 (製糸コンサルタント), 千葉達人 (神戸生糸), 望月弘 (鐘織), 滋野文雄 (蚕糸事業団) 等の先輩諸兄を始め, 旧職員の奥正己先生 (神戸学院大), また44年度卒の山田明君 (日本製麻) を始めとし, 小島吉男 (日本農業), 伊藤克章 (日本スピンドル), 熊木昭君 (グンゼ塚口) などの若手にも参集頂き, 更に吉田まち子さん (旧姓小林, 神戸糸検) が紅一点として出席され, 和気満々一層やわらい

だ雰囲気の総会となった。灘の生一本は秋の夜長にくめども尽ず, 飲む程に酔う程に奥先生の元気な歌, 校歌, 上田名物パッパまで飛び出し, 宴はつきなかつたが, 大家先輩の音頭で母校, 兵庫支会の発展を祈った万才により一応閉宴した次第であった。(石井記)



北信支会開催される

昭和44年11月21日, 長野市あさひ荘において北信支会が開催され, 本部より竹田寛理事が出席した。北信の各地の各職場から40数名の出席者があり, しかも若い人達が多く集って極めて盛會裡になごやかな同窓会が行われ非常に有意義であった。その際, 新役員に次の方々が選出された。

会 長	荒井 猛 (糸12)
副会長	川合 久午 (紡19)
	岡田 量雄 (蚕25)
評議員	中村 正義 (紡19)
	永野 裕貞 (糸32)
	戸田 正行 (農1)
代議員	水口 米雄 (蚕28)
	山崎 千春 (蚕30)
	柄沢 富雄 (糸16)
	原 万平 (蚕29)
事務局	宮沢 孝雄 (農1)

東京千曲会

昭和44年度東京千曲会の総会は11月

21日有楽町の蚕糸会館内で開かれた。小林運美会長の挨拶につづいて、坂口育三先生の挨拶と母校の近況報告があり、事務および会計の報告および承認があつて議事に入った。母校60周年記念事業および繊維農学科存続問題が議題にのぼり、とくに存続問題には議論が沸騰した。議論はつきることなく、ついに途中で打ち切り懇親会に移行した。

出席者は途中から参加した人もあつて48名である。まず自己紹介からはじめられ、山本岩三郎(大9・蚕7)大先輩の筆で、東京千曲会山本の署名とともに全員が色紙に記名した。酒も肴も幹事の平手ぎわから粗末ではあったが7時から8時半ごろまで歓談し、その後は、三三五五有志を集めて騒音とスモッグの有楽町界隈へと消えていった。また10名近くは9時半すぎまで坂口先生を囲み積る話に花を咲かせた。



附・東京千曲会考

誇り高き先輩が名づけたのであろう千曲会東京支会とはいわずに東京千曲会という。43年11月発行の名簿で拾ってみると日本の縮図さながら10パーセントの500名余りの会員がいることがわかる。今回も460通の案内状を出して出席者は48名、欠席の返事は94通、あて先不明、転居先不明などで返送されたものは57通で、260余りの半数以上がなしのつづてである。つねに名簿を補正整理していてもこの傾向はここ

数年変らない。

仕事に追われ、生活やレジャーに追われて他人のことなど考えないのが東京人の特徴だそう。私のように郷里が上田にあつて年に1〜2回母校を訪れ教えを乞うているのは別として、卒業し就職してしまえば、母校に何の関係もなくなる人も大勢いるようにみえる。

ある支会で家庭を回って会費を集めて成果をあげているそうであるが、東京でこんなことをしたらにべもなく断られ、たちまちお巡りさんに追われる身となることは間違いない。

とに角、東京千曲会は大きすぎる。母校も創立60周年を迎えるという。会員の年齢幅もそれだけ広まるわけで、老若による考え方の相違、制度の新旧による断層も深まってくる。三多摩支会を作るとか、蚕糸あるいは紡化支会を作るなど地域とか職域などによる分け方も検討されてよいのではない。

また会費も40年もの長期にせずもっと短期で終了すること、できれば一括払いの安い方法もあつてよいのではないだろうか。

返送された案内状を整理しながら考えるこの頃である。

久保田重良(学蚕5)

東信千曲教育研究会総会の記

千曲会のお膝下に居ながら、わりあい母校や千曲会のことに関心で、どっちかという視野も狭く、自ら門戸を閉ざしているのが我々東信地区の小中高の学校に勤務している者達ではないだろうか。それぞれの勤務校では繊維関係の学問を専攻している者は少ないのでいきおい疎遠になるのも止むを得ない事であろうが、時には母校の先生方から学問の在るべき姿を聞き、又は高度に発達した生産技術や教育施設などの一端に触れて、自分達を高めて行きたいものである。又傍系というところで思うことも十分胸を張って発表出来ないような環境が職場の中に、もし

あるとすれば、同じような気持ちを持つ者が多勢集って話し合うことも意義のあることであろう。

本会はこのような趣旨のもとで東信地区の同窓教職員が毎年集って曲りなりにもその目的を達してきた。

本年は11月15日(土)に会員が千曲会館に集まり、母校松尾卓見先生のご案内により、まず学内の近代的な研究内容の一端を見学。農場の関博夫先生丹精の倍数体桑品種の育成と利用、機械化養蚕施設を皮切りに、繊維工業化学→繊維工学→繊維化学工学→繊維機械、と斯界の第1線スタッフの豊かな研究に目を眩る。戦前に卒業した者達にとっては、いわゆるサンセン時代とは全く面目を一新した姿に、旧い賢では説明にfollowすることさえできない有様。総会行事は30分ですまし、母校会田源作教授による繊維農学科の問題といわゆる学生運動の現況などについてお話を承った。(本学部は非合法的破壊活動はないということで一安心)終って懇親会に移る。来賓としてこの会の設立に功績大きい竹内善吾氏も来会され、会田先生、関先生、松尾先生を囲んで「年はとつても……」と元氣な所を見せ、しばらくは時計の針を忘る。トックリも大分なぎ倒された頃一同母校の発展を祈りつつ散会。既に太郎山下の街はネオンでまぶしく、車の波が押し寄せていた。

当日の参会者次のとおり。

来賓——会田源作先生、関博夫先生、松尾卓見先生、竹内善吾氏。
広瀬幸男(蚕31)、足立隆夫(蚕37)、工藤甲子太(糸32)——以上坂城中。
伊藤要次郎(紡21)、田中製鉄平(蚕28)——以上丸子実高。
木内秀夫(学蚕8)——白田高。
清水洗(蚕20)——上田千曲高。
田中英一(蚕28)——野沢中。
武井宏雄(化3)——丸子北中。
塚田信二(蚕25)、坂本勝三(蚕23)——以上蓼科高。(塚田記)

還暦記念一七会の集い

一七回(蚕17回卒)では会誌の発行を25年に復活して以来今日まで継続しており、恩師の消息、会員たる級友の動静はお互に知悉されているので、数年前から誌上に還暦を機にクラス会開催の要望が再三見られるようになっていたのだったが、今年になって山崎、坂口両君の計報が知らされるに及んで話が急に具体化し、7月25日母校田口研究室に集合、別所温泉花屋ホテル泊り、上田在住会員が世話人という案が決定し、念願の級友会が実現されたのだった。

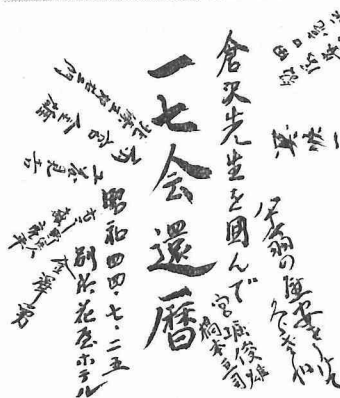
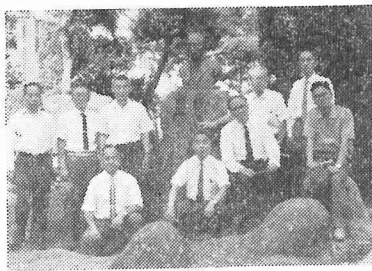
定刻の午後2時田口研究室に勢揃いした者は10名会員の半である。なにしろ卒業以来40年初めて顔を合せる者が多いので、次々と集う白髪が目立つ顔に若かりし日の級友の顔を探して一瞬無言、やがてにっこりヤーヤー、後は積った話に花が咲くばかり。御多忙の山口教授もこられて仲間入りする、ほとんどが「長」という地位のお役人や教員の職を退いて第二の人生に踏み出している者なので、在職中の体験談から最近の健康法にわたり多種多様な話題はつきることを知らない。平素は静かであろう研究室も時ならぬ賑わいに冷たいお茶の接待をしてくれた女の子もさぞや驚ろいたことだろうが許された。

山口、田口両教授の案内で校内見学をし旧本館前で記念撮影をする。

学園は舗装された道路の両側に鉄筋のビル校舎が立並んで往時の姿はなく全く新しい学園になっている。僅かに講堂、修己寮、忘れられたようにひそとある赤レンガの貯蔵庫、蚕具消毒室に昔を忍ぶのみ40年という歳月をしみじみと感ずる。田口研究室もかつての学生控室を6実験室に改装した建物であるとか。グラウンドに立って高い白楊の葉越しに太郎山を望めば、しばし一同無言。田口研究室前の草むらの中に頭の欠けた記念碑があり裏に「惟大

正4年11月、上田蚕糸専門学校職員」と刻まれてあったが、新しい学園の中で、旧校名にお目にかかれるのはこの碑のみではあるまいか。

4時過ぎ花屋ホテルから迎えのマイクロバスで別所に向う。ひと風呂浴びた後は早くも飯塚三段対関二段の名人戦が始まる。倉沢先生がお元気なお顔をお見せになったところで名人戦を中断して記念撮影をする。



倉沢先生を囲んで祝宴に入る頃には級友の顔もその昔の紅顔の美青年をとりもどしていてなごやかなさは増すばかり、会誌の発行を一手に引受けてくれている工藤君へのささやかな感謝の記念に木彫の上田獅子が贈られた後宴は佳境に入るのだが、飲むものはふんだんにあるのに、還暦を越えたという心構いからか飲む方はいささかメートル上らず、若返って高歌放吟もない。別所美人の顔も見られず残念がったのは筆者のみだったかも知れない。さわあれ、今宵の集いは楽しかった、十分に飲を尽して命の洗濯をし、静かな湯の町の夜に枕を並べて眠に入る。

目覚めの早いのはお歳のせい、早朝同室の雨宮、飯塚両兄に起こされて

朝霧にも湯の香がする中を北向観音、国宝八角三重塔、重文石造多宝塔見物と歩き廻ったが、常楽寺では朝の勤行に出てこられた半田老師とお会い出来たのも上田での縁か。

つきぬ名残りを温電で上田駅に戻れば10時半、再会を約して級友会を終り西、東に袂を別つ。

末筆、この集いを成功させた世話人に感謝を表し、出席者の横顔を記す。

雨宮金雄(東京八王寺市)
東京都北多摩事務所長退官後北多摩昭和病院助役として手腕を振るう。健保医療に一家言あり、白いものが目立つが長身もスマートな好紳士なり。

飯塚安治(埼玉飯能市)
秋田県蚕試場長退官後郷里で砂利会社の経営に従事、事業繁昌、堀れば儲かる由、囲碁三段、白い長髪が美しい、育ちの良さか。

金沢 勇(上田市)
上田染谷ヶ丘高校の主だったが今春退職すぐ長野清泉女学院に招かれた。諏訪形の新居でおじいさん振りも板に付いたよう。

工藤見吉(愛媛大洲市)
県蚕試場長退官後帝京短大教授として教育界にのり換えした。一七会誌発行の大本山としてその情熱と御努力には頭が下がる、これもおはなはんの地元のせい。

関 順一(松本市)
長野県農協組講習所長を退職後悠々自適の模様、囲碁二段。

田口亮平(上田市)
信大繊維学部教授、田中、故山崎両君と共に一七会三博士の一人で級友のホープなり。ロマンスグレーの髪は薄く額が広がったようだが温顔といい、体軀といい見事な教授ぶりであるのはたのしい。

橋本亘司(上田市)
蚕と無縁の方が多かった変種、戦後東京で陸交通重役におさまっていたが近年上田が恋しいのか郷里上州を捨て、新田町に新居を構えた。坊主頭は若い

が体調要注意のよう。

北条五郎右衛門（塩田町）

長野県蚕糸課技幹退官後郷里塩田町議におされ地元のため活躍中、往年の陸上競技の名選手も少し健康を害しているよう、御自愛を祈る。

宮堀俊雄（上田市）

長野県養蚕農協連合会参事を昨年退職お孫さん相手に自適のよう、巨人軍の森捕手に劣らぬ強打強肩の名捕手だった在学中そのままのがっちりした体格は立派、俳人である。

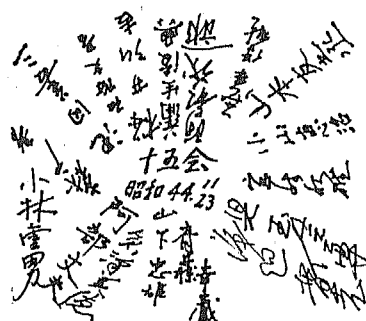
森 亮平（埼玉大宮市）

宮城県黒川高校を定年退職、無縁の地大宮に居を構いたは生来の風来坊癖のため、墓を造ったのでもう落着くよりなし、耳が遠いが髪は黒く健康なり。TV野球狂。

（森記）

十五回総会開催さる

昭和3年養蚕科卒の会、十五回総会が11月22日夜別所温泉花屋ホテルで開かれた。会する者現在員19名中15名、県内、近県は勿論遠く宮城、山形からも参加、来賓として御出席下さった蒲生、倉沢両先生の元気なお姿に一同感激、「君は誰だったかナ」「俺がわからんとは失礼ナ」「〇〇君はまだ来ないのかナ」「冗談じゃない、君の横に居るんじゃないか」致る処でこの会話です。卒業以来40有余年、初めて会った同級生もかなりあったので誠に無理からぬ次第でした。



飲む程に酔う程に話は40余年の昔に遡る。矢張り昔の顔、昔の癖、面影が出て来てなつかしく、夜の更けるのも知らず談笑、誠に感激の一夜でしたが明年は軽井沢で開くことを決定して別れを惜しみつつ散会した。（山下記）

千曲会宮城支会便り

昭和44年12月13日午後3時仙台市に於て宮城支会総会が開催された。総会員34名の内18名出席、例により東家支会長の挨拶、予算決算、役員改選を終え、本年本部総会に出席された山本友之丞大先輩の総会報告あり宴会に入る山本氏は1ヶ月前東南アジア視察旅行を終え帰国されたばかりで旅行話を聞きながら宴会は酣となる、未だ若者をしのぐ山本氏今もって多忙な身で第二座がある由にて中座、次いで伊具農校々長勇退された現心蔵血管予防協会総務部長伊藤力三氏これ又若者としてのぐ

元気さ、宴会を一人でもっているような人柄、現役組として倉沢恒夫試験場長、柿崎泰彦部長、東邦アセチレン取締役の鈴木正一郎氏、三島学園大学教授森泉文雄氏、片倉工業東北営業所長の上野正美氏、県養蚕係長本内富佐司氏外、製糸組としては国定忠雄、東家明秀の両氏、繭検定所長石渡重夫氏、県蚕糸課繭糸係長菅原吉隆氏等外諸氏元気一杯の現役組、酒も進むにつれて思い思いに集まり時の過ぎるのを知らず、万歳は午後6時に一応終え会長も責任を解いたが、話は尽きず久方振りの集まりで楽しい一日を過ごすことが出来た。

出席者氏名

山本友之丞（蚕15）、伊藤力三（蚕17）倉沢恒夫（蚕20）、鈴木正一郎（蚕22）柿崎泰彦（蚕29）、西山久雄（蚕36）、本内富佐司（学蚕1）、大槻英雄（学蚕4）、竹内一誠（学蚕5）、伊藤義正（学蚕8）、横山十三男（学蚕10）、菅野正明（蚕別4）、森泉文雄（農2）、国定忠男（糸15）、東家明秀（糸19）、石渡重夫（糸28）、菅原吉隆（糸33）、上野正美（蚕31）、以上18名。

新支会長 倉沢恒夫

幹 事 柿崎泰彦 大槻英雄
石渡重夫 菅原吉隆

事 務 所 郵便番号 989-23

宮城県亶理郡亶理町館南70
宮城県蚕業試験場

（東家記）

特許・実用新案・意匠・商標

出願・訴訟・鑑定

浜 特 許 事 務 所

東京都港区新橋1の15の4
堤 第一ビル 4 階
東 京 (591) 0764・0765

弁 理 士 浜 三
弁 護 士 中 猪之助
千曲会員 島 鋼治郎
千曲会員 長 谷 実

信大教科書

自然科学書

工学書協会特約店
株式会社 西 沢 書 店
上田原町 T E L ②0024

本部だより

理 事 会 開 催

10月18日理事会を開催した。出席者は小林運美理事長、北条舒正副理事長、関博夫、小林尚一、笠原正己、竹内善吾、斉藤義臣、山崎寿、西沢正一、田口玲、滋野文雄、飯田一郎、小山長雄、土屋幾雄、竹田寛、松沢秀二、白井要範、田中茂光の各理事および顧問蒲生俊興、相談役猪坂直一、香山清和の両氏出席、11月23日開催の第30回定期総に提出する議案について協議した。

監 事 会 開 催

11月18日監事会を開催した。町田博井沢喜三、坂口育三、青島二郎の各監事出席し、昭和44年度歳入歳出決算および基本財産管理状況、会員名簿発行費、営平部分林管理費、利用部事業について監査し午後5時30分終了した。

理 事 会 開 催

12月6日理事会開催。出席は北条副理事長、蒲生俊興、野口新太郎両顧問和田晋、香山清和両相談役および関博夫、山崎寿、西沢正一、竹田寛、土屋幾雄、白井要範、松沢秀二の各理事で議題は先般開催の総会において理事会に一任された事項について協議した。

(1)傭人の採用については適任者の推薦を得て事務処理の円滑を期すこと。

(2)千曲会報広告料の値上げについては従来の1駒100円を300円に値上げすること、会社広告については会報部で検討してきめる。

(3)ある年齢に達したなら会費免除の優遇方については現行の40回会費完納した場合以後免除する方法をつづけて行って該当者が多くなるよう進めてゆく。

(4)会費納入率の向上については各支会に担当理事をきめて連絡をとり向上を計る方針であるが、さしあたり重点支会をきめて納入率の向上を計るようにする。

(5)定款の第1条、第2条の改正等変更についておよび役員選挙について会員の投票による民主化は改選期が明年11月総会まで日があるから経緯審議研究することにきまった。

上小支会会費納入に 好成績を挙げる

従来、上小支会は地元でありながら会費の納入率がなかなかあがらなかった(昭和42年約52%、同43年約22%)そこで昨年7月に会費納入100%は地元上小支会からとの声もり上り、その対策を協議した。その結果、各地区毎に若い責任者と会員の地区別の名簿を作り募集に着手した。熱心な努力が実を結んで10月末には80%以上の納入率を挙げることが出来た。このことは地区毎の名簿の作製即ち会員動静の把

握と若い会員の熱心な努力の賜物であると心からその努力に敬意と感謝を捧げる次第である。

千曲会費完納会員

会費通算40回完納した会員は次のとおりです。多年本会向上発展にご協力いただき感謝いたします。なお40回完納会員は以後会費免除となります。

鶴田 定平	重1 (T3)	山 梨
中島 茂司	重8 (T10)	群 馬
高橋 汎一	重8 (T10)	栃 木
勝又 勝夫	重9 (T11)	神奈川
岸 善亮	重9 (T11)	岐 阜
荻原 幸胤	重10 (T12)	東 京
鈴木 泰市	重13 (T15)	愛 知
前沢 康雄	重14 (S2)	茨 城
山本友之助	重15 (S3)	宮 城
田口 亮平	重17 (S5)	上 小
荻原 孝三	重27 (S15)	北佐久
金井 保	重34 (S22)	三 井
小山 俊吾	重10 (T12)	北佐久
小林 運美	重16 (S4)	東 京
由井 千幸	重16 (S4)	諏 訪
鈴木 玄九	重18 (S6)	兵 庫
東家 明秀	重19 (S7)	宮 城
大井 正夫	重20 (S8)	三 重
武井頼太郎	重28 (S15)	諏 訪
高橋 貞一	重30 (S17)	上 小
宮入 広司	重34 (S22)	"
平林 勇	重34 (S22)	"
上田 和男	重6 (S2)	愛 知
大塚 浩	重17 (S15)	三 重

海外に飛躍する

北野建設株式会社

取締役社長 北 野 次 登

長野市県町524 電代(2)1201
東京都中央区銀座1の5北野ビル 電大代(562)2331
大阪市北区堂島浜通り1の25新大阪ビル 電代(344)2366
松本・高田・ジャカルタ

新 館 落 成

御 料 理

さ さ や

味で有名なささや

皆さんのためのささや

上田市大門町
TEL ② 0128

会 員 動 静

佐藤 佳良 紡 16 (S12) 勤前の通り (住) 前橋市文京町3-8-16
 佐藤 崇 紡 20 (S16) 東洋紡績KK三重工場長, (四日市市大字赤堀888) 電 (0593) (53) 7111 (住) 四日市市大字松本150社宅1号 電 (52) 9518
 芝野 大吉 紡 23 (S18) 自衛隊群馬地方連絡部 (前橋市南町3-33-20)
 前田 貴 紡 24 (S19) 東洋繊維KK尾道工場長, (尾道市天満町17-23)
 長谷川浩三 紡 28 (S24) 倉敷紡績KK紡織部製造課 (大阪市東区北久太郎町2-41 (住) 池田市天神2-3-9
 笠原 一郎 紡 28 (S24) 裕豊紡績KK福山工場 (広島県芦品郡駅家町万能倉373)
 関 口清登 紡 30 (S26) 東京スーツKK (東京都葛飾区東金町1-34-9 (住) 千葉県市川市菅野5-4-3
 上野 毎夫 学紡3 (S30) 通産省京都繊維製品検査所 (京都市上京区智恵光院中立売上る多聞町) (住) 大阪府枚方市香里丘9の8香合同宿舍613号
 佐藤 湧治 学紡3 (S30) 勤前の通り (住) 小金井市東町1-31-13 電 (0423) (83) 7175
 古平 善蔵 学紡7 (S34) 勤前の通り (住) 東京都中野区中野3-29-4 宮園ケミカルコーポ204号
 小出 明良 学紡10 (S37) 平田紡績KK石巻出張所, (宮城石巻市門脇町1-13-5)
 轟 道彦 学紡10 (S39) Thai Kurabo Co., Ltd. C/o Mitsubishi ComPany (Thailand) Ltd P. O. Box 179. BANGKOK. THAILAND 留守宅須坂市塩川町630田中正雄宅 轟好子
 白石 昌雄 学紡11 (S38) 兼松江商KK機械プラント第2部第1課 (東京都中央区宝町2-5
 篠ヶ瀬勝義 学工12 (S39) プリDESTONタイヤKK技術センター内タイヤ製造技術部材料ケービス課 (東京都小平市小川東町2800-1) (住) 小平市小川東2800-1BSアパートC-310室
 登立 武司 学工14 (S41) 株式会社東洋社製造部生産管理課 (大阪府門真市常福寺16-15) (住) 寝屋川市市井町29-6
 井本 博 化 4 (S20) 東洋曹達工業KK研究所第3研究部 (山口県都濃郡南陽町富田)
 西沢 寛夫 化 7 (S24) 新光合成樹脂KK (川崎市登戸発耕地
 竹内 昭 化 7 (S27) 旭化成工業KK繊維研究所

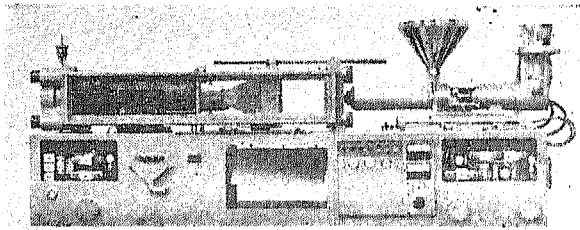
金沢分室 (石川県石川郡野々市町字栗田口-42)
 小林万千男 化 9 (S26) ユニチカKK第2加工研究所 (大阪府三島郡島本町山崎1)
 中村 春彦 化 9 (S29) クラレプラスKK (大垣市長松町718)
 菊 川武 学化3 (S30) 東洋レーヨンKK三島工場第1フィラメント課長 (住) 三島市文教町2-28-24東レ上岩崎アパート9-3
 池内 鼎 学化4 (S31) 帝人KK北陸営業所 (福井市大手町3-4-1 福井放送会館3階) (住) 福井市大宮3-9-15 電 (0776) 22-8292
 池内 淑子 学化4 (S31) 全上
 桑原 晃 学化7 (S34) 三菱レイヨンKK大竹工場 (大竹市御幸町20-1) (住) 大竹市黒川中浜アパート3-13
 宮崎 敏夫 学化8 (S35) 勤前の通り (住) 宮崎県延岡市旭町恒富中社宅6-3
 西川 満佳 学化10 (S37) 帝人KK松山工場 (住) 愛媛県松山市余戸帝人余土1362社宅1-7
 西川 峯子 全上
 鈴木 武司 学化12 (S39) 兼松江商KK東京支社機械プラント第2部第2課 (東京都中央区宝町2-5)
 西尾 豊 学化13 (S40) 日綿実業KK東京支社化学部品農薬課 (東京都中央区宝町1-6) 電 (567) 1311 (住) 千葉県流山市松ヶ丘1-486日綿柏寮413 電 (67) 5688
 小山 修 学化14 (S41) 竹本油脂KK大阪営業所, (大阪市西区靱本町2708) 電 (541) 8761 (住) 竹本油脂大阪営業所独身寮 大阪市西区靱本町2-108
 岡島 守 学化14 (S41) 勤前の通り (住) 名古屋市北区深田町2の14消防局宿舍10号室
 松田 芳穂 学化16 (S43) 富山化学KK (富山市下奥井2-4-1

会 員 計 報

下記会員が死亡されました。謹んで哀悼の意を捧げご冥福をお祈り申し上げます。

安孫子文弥 蚕3 S44. 8. 13 御逝去
 妻 千代 山形市大字大森440
 甲田 勝衛 糸7 S44. 9. 29 御逝去
 嗣子 脩 横浜市保土谷区峯岡町2-2-11
 清水 基弘 化3 S44. 10. 18 御逝去
 妻 美枝 上田市岩門
 小口 英一 糸12 S44. 12. 9 御逝去
 嗣子 喜久雄 岡谷市天竜町2-3-7

日精の射出成形機は あらゆる産業で活躍しています



射出成形機の総合メーカー

NISSEI 日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 TEL 坂城(2)3000
営業所 東京・大阪・名古屋・足利・広島・富山

強力オキソ・レジン糖衣錠

優秀発明賞・紫綬褒章に輝く
小湊潔博士(糸4回、理研化学工業株式会社
取締役社長)の発明

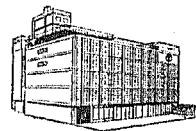
- 特 長
1. 長期間常用しても体臭・口臭・便臭をともしなわない。
 2. 著しく食欲を増し体重を増加する
 3. 便秘を整え、常習性下痢を医す
 4. 抗病性を増す
 5. 体力増強・末梢血管の拡張等によって保温作用があるので常用すると冷え症によい

適応症 食欲増進、虚弱体質、盗汗、腺病質、
疲労回復、産婦人栄養、更年期障害、
神経痛、アレルギー疾患

理研化学工業株式会社

本 社 京都市左京区下鴨萩ヶ垣内町15
電 話 (781) 0433 番
伏見工場 京都市伏見区深草向川原町48
電話(641)5306(代表)〜9番
東京連絡所 東京都港区南麻布4丁目13番9号
電話(444)0721(代表)〜4番

販売元 岩城薬品株式会社
大阪市東区伏見町三丁目二十六番地
イワキ株式会社
東京都中央区日本橋本町四丁目一番地



皆様の百貨店

上田・中央 **ほていや**

編 集 後 記

明けましてお目出度うございます。年頭に当たりまして皆様のご多幸を心からお祈りいたします。編集委員一同張り切ってはおりますが、何分にも多忙な日が多く皆様のご期待に添うような会報ができませんで申し訳なく存じお詫び申し上げます。しかし出来る限りの努力する熱意は充分もっておりますので、今年もよろしくご支援とご協力の程を心からお願いいたします。原稿をどしどしお寄せ下さいませよう重ねてお願い申し上げます。

編集委員 竹田寛、篠原昭、竹内善吾、中沢賢、平林潔、小笠原真次、山本万寿夫、白井征芳、小林俊一、白井要範